

一般社団法人日本肝胆膵外科学会

平成 30 年度(2018 年)事業報告書

※平成 30 年(2018 年)4 月 1 日～平成 31 年(2019 年)3 月末まで

1:肝胆膵の外科に関する学術集会の開催

第 30 回(2018 年度)日本肝胆膵外科学会・学術集会を開催した。

会長：遠藤 格(横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学 教授)

テーマ：輝く未来のための第二の開国

会期：平成 30 年(2018 年)6 月 7 日(木)～6 月 9 日(土)

会場：パシフィコ横浜

1,217 題の演題が集り、参加者は 2,139 名であった。

2:機関誌の発行

・発行について

本学会英文機関誌 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences (JHBPS)を発行し、Monthly に発刊し、冊子は評議員の先生方に送付した。

25 巻 4 号 2018 年 4 月	1,550 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 5 号 2018 年 5 月	1,550 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 6 号 2018 年 6 月	1,550 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 7 号 2018 年 7 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 8 号 2018 年 8 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 9 号 2018 年 9 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 10 号 2018 年 10 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
25 巻 11 号 2018 年 11 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
26 巻 12 号 2018 年 12 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
26 巻 1 号 2019 年 1 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
26 巻 2 号 2019 年 2 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)
26 巻 3 号 2019 年 3 月	1,590 部発刊(オンラインジャーナルも含む)

・ Editor-in-Chief の交代について

平成 31 年(2019 年)1 月 1 日付けで、Editor-in-Chief が高田忠敬(名誉創立者・名誉理事長)から遠藤 格に交代した。また、これまで本学会英文機関誌 JHBPS の発展のため多大なる貢献をされてきた高田忠敬(名誉創立者・名誉理事長)は“Founding Editor-in-Chief”となる。

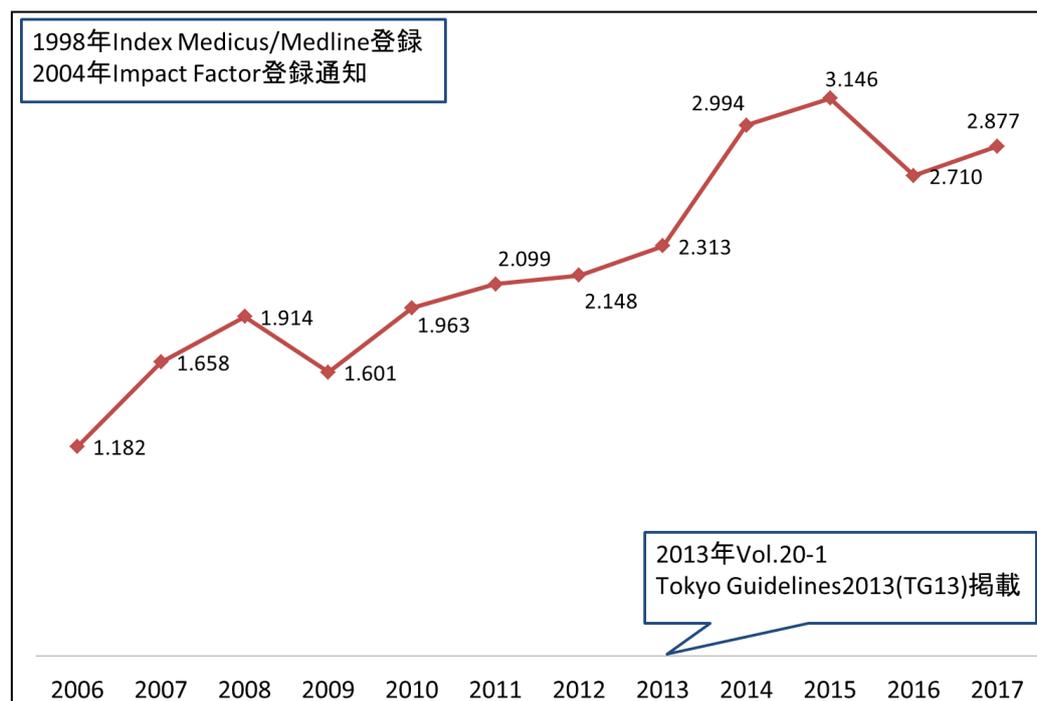
・ Impact Factor について

Impact Factor 2.877(平成 30 年(2018 年)7 月現在)

(Surgery 分野 200 誌中 45 位、Quality in Category Q1)

(Gastroenterology & Hepatology 分野 80 誌中 44 位、Quality in Category Q2)

【Impact Factor の推移】



3:平成 30 年(2018 年)6 月 7 日社員総会終了後の役員変更

退任理事 4 名

杉山 政則、猪股 裕紀洋、藤元 治朗、木村 理

新任理事 4 名

永野浩昭(山口大学)

庄 雅之(奈良県立医科大学)

大塚将之(千葉大学)

調 憲(群馬大学)

再任理事 19 名

椰野 正人、太田 哲生、山本 雅一、国土 典宏、山上 裕機、鈴木 康之、

吉田 雅博、高田 泰次、大坪 毅人、遠藤 格、海野 倫明、大段 秀樹、

佐野 圭二、堀口 明彦、平野 聡、中村雅史、中郡聡夫、田邊 稔、江口 晋

したがって、平成 30 年(2018 年)6 月 7 日社員総会終了後の本学会役員は以下となった。

- 1 再任理事候補 椰野 正人
- 2 再任理事候補 太田 哲生
- 3 再任理事候補 山本 雅一
- 4 再任理事候補 国土 典宏
- 5 再任理事候補 山上 裕機
- 6 再任理事候補 鈴木 康之
- 7 再任理事候補 吉田 雅博

- 8 再任理事候補 高田 泰次
- 9 再任理事候補 大坪 毅人
- 10 再任理事候補 遠藤 格
- 11 再任理事候補 海野 倫明
- 12 再任理事候補 大段 秀樹
- 13 再任理事候補 佐野 圭二
- 14 再任理事候補 堀口 明彦
- 15 再任理事候補 平野 聡
- 16 再任理事候補 中村 雅史
- 17 再任理事候補 中郡 聡夫
- 18 再任理事候補 田邊 稔
- 19 再任理事候補 江口 晋
- 20 新任理事候補 永野 浩昭
- 21 新任理事候補 庄 雅之
- 22 新任理事候補 大塚 将之
- 23 新任理事候補 調 憲

平成 30 年(2018 年)6 月 7 日社員総会終了後の理事会において、本学会代表理事として、山本雅一が選任された。

4:高度技能専門医認定に関する事業

平成 30 年(2018 年)6 月
高度技能専門医資格認定委員会
新規申請

93 名の申請者のうち、43 名が認定、50 名が非認定 の結果となった。

更新申請

2008 年および 2013 年に認定された高度技能専門医に対して、更新申請・審査が行われた。
2013 年認定の高度技能専門医 28 名のうち、27 名から更新申請書類が提出され、全員の更新を認める。

指導医資格認定委員会

更新申請

2008 年および 2013 年に認定された高度技能指導医に対して、更新申請・審査が行われた。
2008 年および 2013 年認定に認定された高度技能指導医 328 名のうち、255 名から更新申請書類が提出され、253 名の更新を認めた。

なお、名誉指導医には申請があった 48 名全員を認定した。

修練施設認定委員会

新規申請

A 施設認定への申請はなかった。

B 施設認定への申請が 20 施設からあり、審査の結果 14 施設が認定、6 施設が非認定となった。

再認定

以前に修練施設認定されていたが、更新ができなかった施設や高度技能指導医の不在により認定が取り消しとなった施設のうち 5 施設から再認定申請があったため、審査が行われ 4 施設を認定した。1 施設は症例不足により、非認定とした。

更新申請

2008 年および 2013 年に認定された高度技能専門医修練施設に対して、更新申請・審査が行われた。更新に際し、8 施設に対して B 施設から A 施設への認定区分の変更を認めた。また、1 施設は A 施設から B 施設へ変更とし、2 施設は症例不足により、更新を認めなかった。

結果、本年は施設 A 103 施設、施設 B 33 施設の更新を認めた。

なお、今回の審査により、本学会が認定する修練施設の数、施設 A 122 施設、施設 B 121 施設、計 243 施設となった。

(平成 30 年(2018 年)7 月末現在の高度技能専門医、高度技能指導医、修練施設数)

高度技能専門医修練施設 A…121 施設

高度技能専門医修練施設 B…121 施設

肝胆膵外科高度技能専門医…266 名

肝胆膵外科高度技能指導医…553 名

肝胆膵外科名誉指導医…127 名

5:本学会運営と活動

<1> 会員数

平成30年3月31日現在: 3, 619名

平成30年4月1日以降 平成31年3月31日まで

新入会: 167名

退 会: 205名

本人申出_61名

逝 去_6名

強制退会_139名

休 会: 11名

復 会: 6名

平成31年3月31日現在: 3, 575名

内 訳 名誉理事長_3名

名誉会員_41名

特別会員_80名

評議員_1, 373名

Japan HPB passport (評議員)_84名

正会員_1, 986名

Japan HPB passport (正会員)_8名

<2> 物故者(H30.4.1~H31.3.31 に届出があったもの)50音順

木南義男(特別会員)

迫田晃郎(特別会員)

神野大乘(正会員)

平松聖史(評議員)

矢野誠司(評議員)

吉川達也(特別会員)

<3> 30周年記念式典開催

第30回(2018年度)日本肝胆膵外科学会・学術集会会期中【平成30年(2018年)6月7日(木)】にパシフィコ横浜会議センター内で、30周年記念式典・鼎談を開催した。

記念式典:

開会の辞	山本雅一(日本肝胆膵外科学会 理事長)
おことば	高円宮久子妃殿下
来賓祝辞	小桐間 徳(文部科学省(研究振興局学術研究助成課長)) 迫井正深(厚生労働省(保険局医療課長)) 黒岩祐治(神奈川県知事) 林 文子(横浜市長) 森 正樹(日本外科学会 理事長) 瀬戸泰之(日本消化器外科学会 理事長) Steven M. Strasberg(日本肝胆膵外科学会 海外名誉会員) Palepu Jagannath(日本肝胆膵外科学会 海外名誉会員) Dong Wook Choi(日本肝胆膵外科学会 海外名誉会員)
閉会の辞	高田忠敬(日本肝胆膵外科学会 名誉創立者・名誉理事長)

鼎談:

司会	宮崎 勝(日本肝胆膵外科学会 名誉理事長) 山本雅一(日本肝胆膵外科学会 理事長)
鼎談者	高田忠敬(日本肝胆膵外科学会 名誉創立者・名誉理事長) 川原田嘉文(日本肝胆膵外科学会 名誉会員) 嶋田 紘(日本肝胆膵外科学会 名誉会員)

6:各種委員会等

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において調査研究、機関誌の発刊、学術集会の開催、専門医制度の運営、関係機関に対する要望・協議、提言、その他について検討した。

・将来検討委員会(担当理事 山本雅一)

- ・財務委員会(担当理事 吉田雅博)
 - ・編集委員会(担当理事 遠藤 格)
 - ・高度技能専門医制度委員会(担当理事 山上裕機)
 - ・技術認定委員会(担当理事 國土典宏)
 - ・修練施設認定委員会(担当理事 田邊 稔)
 - ・高度技能専門医・指導医資格認定委員会(担当理事 海野倫明)
 - ・Scientific Committee(担当理事 平野 聡)
 - ・規約委員会(担当理事 調 憲)
 - ・倫理委員会(担当理事 太田哲生)
 - ・国際交流委員会(担当理事 江口 晋)
 - ・評議員選考委員会(担当理事 鈴木康之)
 - ・保険診療委員会(担当理事 田邊 稔)
 - ・学会賞選考委員会(担当理事 庄 雅之)
 - ・利益相反委員会(担当理事 大段秀樹)
 - ・安全管理委員会(担当理事 大坪毅人)
 - ・転移性肝がん国際診療ガイドライン委員会(担当理事 山本雅一)
 - ・胆道癌診療ガイドライン委員会(担当理事 椰野正人)
 - ・胆道癌登録委員会(担当理事 堀口明彦)
 - ・胆道癌取扱い規約委員会(担当理事 佐野圭二)
 - ・プロジェクト委員会(担当理事 山上裕機)
 - ・国際胆道炎特別研究プロジェクト委員会(担当理事 遠藤 格)
 - ・合同プロジェクト委員会(担当理事 山上裕機)
 - － 日韓合同プロジェクト小委員会(委員長 遠藤 格)
 - － 日台合同プロジェクト小委員会(委員長 中村雅史)
 - ・Japan Chapter(A-P HPBA/IHPBA)(担当理事 國土典宏)
 - ・内視鏡外科関連委員会(担当理事 中村雅史)
 - ・肝臓移植外科関連委員会(担当理事 高田泰次)
 - ・広報委員会(担当理事 中郡聡夫)
 - ・地域教育セミナー委員会(担当理事 遠藤 格)
 - ・30周年記念事業準備委員会(委員長 宮崎 勝)
 - ・30周年記念誌作成委員会(委員長 佐野圭二)
- ※ データベース委員会、および小児肝胆膵外科関連委員会は平成30年(2018年)6月8日をもって活動終了。

7:各種委員会活動まとめ

- a) 平成30年(2018年)4月21日理事会にて、新たな国際診療ガイドライン「転移性肝癌診療ガイドライン」を作成することが決まった
- b) 第30回本学会学術集会から、海外からも一般演題の募集を開始した。
- c) 平成30年(2018年)4月21日理事会にて、本学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針について、平成32年(2020年)から日本外科学会、日本消化器外科学会が同指針に沿って本格運用することを考慮し、本学会も平成32年(2020)から本格運用する。

- d) 平成 30 年(2018 年)4 月 21 日理事会にて、従来の教育セミナーのテーマに「倫理」と追加した。なお、倫理の発表は、「不正論文について、論文の authorship など基本的事項の整理、臨床研究のありかた・注意事項」の 3 つを必須とする。
- e) 平成 30 年(2018 年)4 月 21 日理事会にて、IHPBA と A-PHPBA の両国際学会に First author として参加すればクレジットを付与することが決まった。ただし、2019 年に開催するソウルの A-PHPBA への参加から施行する。
- f) 平成 30 年(2018 年)8 月 7 日理事会にて、2019 年度海外医師研修受け入れ制度における Observer として下記 2 名が採用された。
- ・ Dhruva Narayan Sah(ネパール): 2019 年 4 月～6 月 静岡がんセンター
 - ・ Ridho Ardhi Syaiful(インドネシア):2019 年 4 月～6 月 東京女子医科大学
- g) 平成 30 年(2018 年)11 月 24 日理事会にて、2019 年度 International Obervserrhip 留学制度における Observer として、下記 1 名が採用された。
- ・ 長井美奈子(奈良県立医科大学消化器・総合外科)
- h) 平成 30 年度公募プロジェクト研究は下記 2 題が採択された。
- ・ 研究名:「切除可能な少数転移巣を伴う膵癌に対する外科的切除の有用性に関する検討」
研究者:宮坂義浩(九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科)
 - ・ 研究名:「膵切除における抗血栓剤服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究」
研究者:庄 雅之(奈良県立医科大学消化器・総合外科)
- i) 平成 30 年度 NCD データを利用した消化器外科領域研究課題研究には、下記の 2 題が採択された。
- ・ 研究名:「本邦における肝切除後胆汁瘻の現状と危険因子の同定」
研究者:馬場秀夫(熊本大学大学院 消化器外科学)
 - ・ 研究名: “Surgical outcomes of laparoscopic versus open repeat liver resection for recurrent hepatocellular carcinoma and colorectal liver metastasis” (再発肝癌に対する開腹肝切除および腹腔鏡下肝切除術の手術侵襲度の比較検討)
研究者:山本 雅一(東京女子医科大学消化器外科)
- j) 平成 30 年(2018 年)6 月 8 日、および 9 月 28 日に、胆道癌診療ガイドライン第 3 版の公聴会を開催した。第 3 版は平成 31 年(2019 年)に発刊予定。
- k) 平成 30 年(2018 年)6 月 7 日理事会にて、胆道癌登録を NCD に実装することが決まり、2021 年に NCD システムによる登録開始予定。
- l) 平成 30 年度(2018 年)に、下記ごとく地域教育セミナーを開催した。
- 北海道地区
開催日時 2018 年 7 月 28 日(土)17:00 ～ 18:30
開催場所 星野リゾート OMO7 旭川(旧旭川グランドホテル)
- 東北地区
開催日時 2018 年 6 月 23 日(土)17:00 ～ 18:30
開催場所 TKP ガーデンシティ仙台(東北外科集談会と同時開催)
- 関東地区
開催日時 2018 年 8 月 4 日(土)15:00 ～ 16:30
開催場所 東京女子医科大学 弥生講堂

北陸地区

開催日時 2018 年 9 月 15 日(土)16:00 ～ 17:30

開催場所 富山大学医学部杉谷キャンパス 第二講義室

東海地区

開催日時 2018 年 8 月 4 日(土)15:00 ～ 17:00

開催場所 名古屋大学医学部基礎研究棟第 2 講義室

関西地区

開催日時 2019 年 2 月 2 日(土)15:00 ～ 16:30

開催場所 大阪大学中之島センター

中国・四国地区

開催日時 2018 年 9 月 7 日(金)17:00 ～ 19:00

開催場所 広島県医師会館 (第 93 回 中国四国外科学会総会と同日開催)

九州地区

開催日時 2018 年 5 月 12 日(土)17:00 ～ 18:30

開催場所 電気ビル3階 カンファレンスルーム

8:その他

平成 30 年(2018 年)6 月 7 日理事会・社員総会にて、2021 年第 33 回本学会学術集会会長として、久保正二評議員(大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科 教授)が就任することが承認された。

9:開催理事会・社員総会について

＝理事会＝

日時:平成 30 年(2018 年)4 月 21 日(土)10:00～12:00

場所:TKP 新宿モノリスカンファレンスセンター カンファレンスルーム B1A

日時:平成 30 年(2018 年)6 月 7 日(木)7:30～9:30

場所:パシフィコ横浜 会議センター 4 階「411+412」

日時:平成 30 年(2018 年)6 月 8 日(金)7:15～9:30

場所:パシフィコ横浜 会議センター 4 階「411+412」

日時:平成 30 年(2018 年)11 月 24 日(金)12:00～7:54

場所:東京国際フォーラム ホール E 地下 2 階「セミナー室 1」

＝社員総会＝

日時:平成 30 年(2018 年)6 月 7 日(木)16:30～18:30

場所:パシフィコ横浜 会議センター 1 階「メインホール」